

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業  
「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」  
第2回 教育プログラム検討委員会 議事録

【日 時】平成25年12月9日（月） 10時00分から11時00分

【場 所】以下の3拠点によるスカイプ会議

昭和大学 1号館502号室、岩手医科大学 城教授室、北海道医療大学 越野教授室

【出席者】城教授、内金崎事務員（岩手医科大学）

越野教授、西村課長、歳桃事務員（北海道医療大学）

片岡教授、大矢課長、山村係長、乾事務員（昭和大学）

————— 議 事 内 容 —————

1) 来年度の授業について

(1) 授業時期

来年度授業時期について、越野教授、城教授、片岡教授より説明があった。

- 北海道医療大学：3年生 4,5月、5年生 5月～7月
- 岩手医科大学：3年生 9月末～10月（オリエンテーション含め9コマ）、4年生 9月末～10月中旬（オリエンテーション含め9コマ）
- 昭和大学：3年生 9月（10コマ）、4年生 9月（10コマ）

(2) オリエンテーション

- 北海道医療大学：特別にコマを設ける予定はない。1回目の授業の進行状況にゆとりをもたせ、その中で越野教授、豊下講師より説明を行なう。常設PCもしくはCBT受験用PCの教室を使う予定である旨、越野教授より説明があった。
- 岩手医科大学：9月中旬予定。担当は城教授・内金崎様。3年生は矢巾キャンパス、4年生は内丸キャンパスで開催。環境を含めて確認する旨、城教授より説明があった。
- 昭和大学：4月に各学年でオリエンテーションを行なう旨、片岡教授より説明があった。

(3) 教室のIT環境

- 北海道医療大学：常設PCもしくはCBT受験用PCの教室を使う予定。大学所有PCを貸与する。事前学習はアナウンスを行ない、各自サイトへアクセスさせる。紙媒体で配布する対応も考えている旨、越野教授より説明があった。
- 岩手医科大学：3年生は矢巾、4年生は内丸で開催。環境を含めて確認する。4年生でVPを行なう可能性があり、環境調査は検討事項となっている。城教授、内金崎様、ピコラボ鈴木様、もしくは金沢電子出版佐藤様と確認を行な

い、状況を報告する旨、城教授より説明があった。

Mac で VP が一部作動しない件に関して城教授より質問があり、ピコラボ鈴木様へ確認することになった。

- 昭和大学：4, 5月片岡教授の授業で動作確認を行なう旨、片岡教授より説明があった。

## 2) IT を活用した授業運用マニュアルの作成について

標準授業運用マニュアル作成について合意を得た。担当は、e-learning: 金沢電子出版、VP: ピコラボ、各大学: IT 担当教職員とする。

越野教授より、本事業終了後、予算の確保ができなくなった場合、大学・教員レベルである程度書き換えができるようなマニュアル作成が必要との提案があった。

岩手医科大学では来年度より大学としてサポートを受けられるよう進めていく予定である旨、城教授より説明があった。

学生登録から教材改善までのステップまでのマニュアルを作成し、共有することで合意を得られた。また、教材を改善するレベル（1行、単語程度の修正）の作業マニュアルも併せて作成することで合意を得た。

越野教授より、各大学の作業状況がフィードバックが出来るような仕組み作りについて提案があり検討することになった。

各年度で実施した教材の最終版としてマスターコンテンツを作成し、共有する。次年度改良する際はマスターコンテンツを使用することで合意を得た。

昭和大学が保管している moodle 既存マニュアルについて、金沢電子出版の相談の上、各大学担当者へ送付することで合意を得た。

## 3) ワークショップの開催について

### (1) 前日泊

3/27 (木) WS より、教職員は基本的には前日泊翌日 9:00 開始とする。歯科医師会は日帰り希望が多いため、当日 10 時半より参加とすることで合意を得た。

### (2) 懇親会（費用負担）

基本的には個人負担で問題ないが、参加については個人の判断に任せることとする。徴収額は 3~4,000 円の負担を予定。懇親会は WS の中に組み込み、17 時から 18 時頃情報交換会として開催することで合意を得た。

## 4) その他

3 大学の補助金の使い方に関する会を開催してほしい旨西村様より依頼があり、大矢課長主催で開催されることになった。

以上